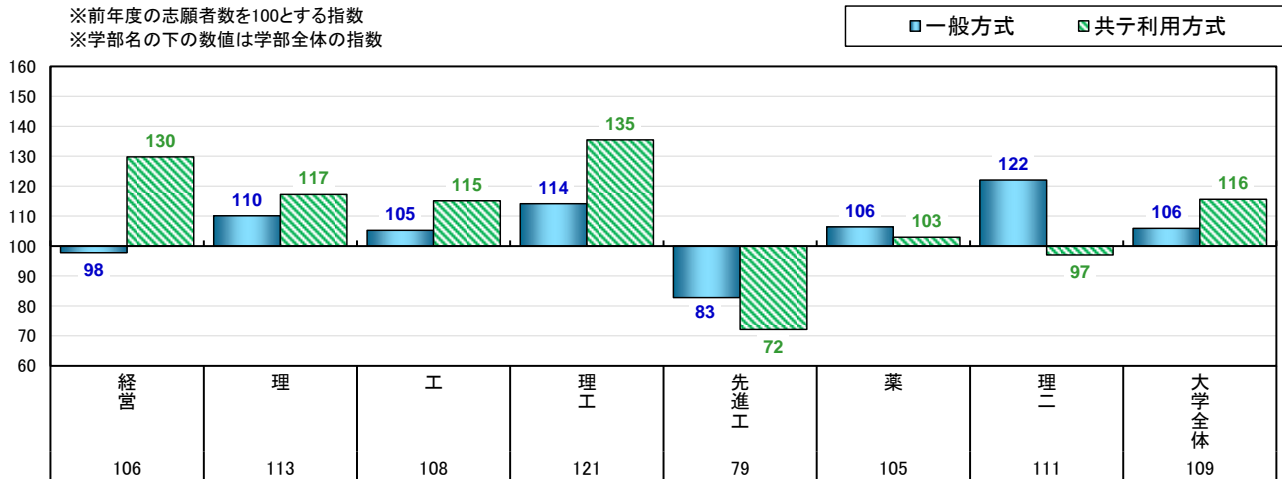


東京理科大：大学全体では3年ぶり増加。4方式全てが増加 一般：+1,981人 共テ：+2,470人



主な入試変更点 選抜方法：〈一般・グローバル方式〉…TEAP135点以上→TEAP101点以上、
TEAP CBT235点以上→TEAP CBT130点以上、GTEC検定版を追加
キャンパス移転：工(工業化学)…神楽坂キャンパス→葛飾キャンパス

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では4,451人(109)の増加で3年ぶりの増加。一般方式は1,981人(106)のやや増加。方式別では、〈グローバル〉は英語外部試験の対象試験拡大や基準点緩和も影響し、135人(107)のやや増加、〈B方式〉は1,846人(106)のやや増加で5年ぶりの増加。共通テスト利用方式は2,470人(116)の大幅増加。方式別では〈C方式〉は1,230人(138)の大幅増加、〈A方式〉は1,240人(110)の増加で、いずれも2年連続減少の反動による増加。

〈一般方式〉

- 経営(98)は、微減だが3年連続減少。学科別では、(経営)(118)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(ビジネスエコノミクス)(102)は微増だが3年連続増加。新設2年目の(国際デザイン経営)(50)は半減。
- 理(110)は、前年度3年ぶりに減少した反動で、再び増加。全ての学科で増加し、(応用数学)(120)は大幅増加。
- 工(105)は、やや増加で4年ぶり増加。学科別では、(電気工)(122)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(機械工)(106)はやや増加、他の3学科はいずれも前年度並。
- 理工(114)は、2年連続減少の反動で増加。10学科中5学科が大幅増加で、特に、(先端科学)(140)、(土木工)(131)が目立った。
- 先進工(83)は、前年度基礎工から改組し大幅増加した反動で大幅減少。学科別では、(電子システム工)(77)、(マテリアル創成工)(84)は大幅減少、(生命システム工)(87)は減少。
- 薬(106)は、系統への人気の高まりもありやや増加。学科別では、(薬)(111)は4年ぶりの増加、(生命創薬科学)(99)は微減だが2年連続減少。

〈共通テスト利用方式〉

- 経営(130)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(ビジネスエコノミクス)(149)は3年連続減少の反動、(経営)(135)も2年連続大幅減少の反動。新設2年目の(国際デザイン経営)(75)は大幅減少。
- 理(117)は、3年ぶり増加。学科別では、前年度唯一増加だった(化学)(98)は微減だが、その他の学科はいずれも増加し、特に(応用数学)(158)、(応用化学)(140)の大幅増加が目立った。
- 工(115)は、大幅増加で3年ぶり増加。学科別では、前年度唯一増加だった(情報工)(97)はやや減少だが、その他の学科はいずれも増加し、特に(機械工)(135)、(電気工)(128)の大幅増加が目立った。
- 理工(135)は、2年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、10学科中9学科が増加で、特に、(建築)(201)は倍増、(先端化学)(170)、(数学)(168)は激増で、いずれも2年連続減少の反動。唯一減少の(経営工)(84)は、前年度半減の反動はなく2年連続大幅減少。
- 先進工(72)は、旧基礎工から2年連続増加した反動で大幅減少。学科別では、(電子システム工)(49)は前年度激増の反動、(マテリアル創成工)(82)は前年度大幅減少の反動はなく2年連続減少、(生命システム工)(90)は2年連続増加の反動。
- 薬(103)は、やや増加。学科別では、(薬)(117)は2年連続減少の反動に加え、系統への人気の高まりもあり大幅増加。(生命創薬科学)(82)は大幅減少で前年度の反動による増減が継続。